
岐阜県立東濃高等学校

校長 平井 学
学校住所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1
0574-67-2136 fax0574-67-6204
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

- 1 会議の名称 平成29年度 第1回学校評議員会 (岐阜県立東濃高等学校)
- 2 会議の構成
委員 齋藤 之男 御嵩町ボランティア「輝き隊」
田中 妙子 税理士
平井 繁幸 御嵩町中公民館厚生員
鍵谷 欣弘 東海化成工業株式会社人事総務部課長
嶋崎 友美 東濃高等学校PTA会長
学校関係者 平井 学 校長
片山 澄美 教頭
林 靖 教頭
吉田 益穂 教務部長
大島 直人 生徒指導主事
三田村広隆 進路指導主事
- 3 会議の目的 本校の教育活動について各委員に提言及び助言を求め、もって今後の学校運営の参考とするなど、本校教育の発展に資することを目的とする。
- 4 会議の開催 平成29年5月15日(月) 14:30~15:40
岐阜県立東濃高等学校 進路ガイダンス室
委員4名と学校関係者6名出席
- 5 会議の概要 ①平成29年度学校教育指導の重点について説明
②地域課題を踏まえた活力ある学校づくりについての説明
③意見交流

会議資料

- (1) 会議レジュメ
- (2) 平成29年度学校教育指導の重点
- (3) 平成29年度「魅力ある高校づくり推進事業」
- (4) 演劇表現ワークショップに関するアンケート

6 学校側より説明（現状と将来像）

- ・ 県内の中学校卒業予定者の推移、可茂学区における活性化の方向等の説明。
- ・ 東濃高校は単位制の普通科の高校。
- ・ 東濃高校は外国人生徒を多数指導している全国唯一の公立高校。他の言語が使えることを強みとしたい。
- ・ 県外の高校から多くの見学者あり。
- ・ 外国人生徒のほとんどは、可児市、美濃加茂市から通学。
- ・ 中学時に特別支援学級に在籍していた生徒が何名かいる。そうした生徒にも出口の保障が重要。
- ・ 外国人生徒や障がいをもつ生徒も増加。将来、地元に残り、税金を払い、自治会長ができる人になってほしい。
- ・ 魅力ある高校づくり推進事業の県からの予算は演劇表現ワークショップとキャリア教育プログラムの費用と考えている。

7 評議員からの意見

意見1

3年生の進路相談会は、専門的な話が聞ける機会として大切である。

回答1

今後も継続する方向である

意見2

中学校ではあまり勉強しなかった子が、東濃高校へ来て勉強するようになった。高校は変わるチャンスである。そういった子の支援をしてほしい。

回答2

中学校時には先生方にあまり関わってもらえなかった生徒が多い。本校では積極的に関わることでコミュニケーションを図り、学校に来たくなるように努力している。多くの生徒は変わりたいと思っているので、その背中を押す指導をしていきたい。

意見3

東濃高校の実施しているキャリア教育プログラムに毎年協力している。企業にとってもコミュニケーション能力は大切である。会社でもKYトレーニングというものを実施している。長く勤めてもらうためには社員間の意思疎通が重要となる。地域貢献として御嵩町の「企業の森」に参加している。

回答3

キャリア教育プログラムだけでなく、従業員としても多く採用していただいて感謝しています。

意見4

通学の様子を見ている。小学生は元気に挨拶を返してくれるが、3年前の東濃高校生は帰してくれなかった。だが、今年は挨拶を返してくれる子が増えてきている。挨拶は「人としての原点」だと思う。自然に挨拶ができる生徒を育ててほしい。

回答4

今年の1年生は非常によく挨拶をしてくれるので2，3年生も含めて普通に挨拶が行われるようになりうれしく思っている。今後も地域の人からも愛される生徒になれるように指導していきます。

会議のまとめ

本日の評議員会では、学校の現状と将来像についての説明をし、より多くの意見をいただきました。

今後、以下のことに留意していきたいと考えています。

- ・外部の方に見てもらえる機会を増やすこと
- ・積極的な情報発信に努めていくこと
- ・演劇表見ワークショップとキャリア教育プログラムの成果が、授業の中に生かせる指導の工夫